

【市長】

第16回市議会定例会を、12月4日木曜日に開会するため、本日、招集告示をさせていただきました。

今議会に提出を予定している案件は、

- 報告として、「委員会審査結果報告」が2件、
- 陳情として、「議会からの提出案件」の1件、
- 議案として、「補正予算」が3件、「条例案件」が12件、
「指定管理者の指定」が5件、

「財産の譲渡」が1件、「土地の譲渡」が1件の、計22件、

- 諮問として、「人権擁護委員候補者の推薦」が1件、

以上、報告、陳情、議案、諮問を合わせまして、合計26件となります。

案件の詳細につきましては、担当部長から説明させていただきます。

【総務部長】

第16回市議会定例会提出予定案件につきまして、御説明いたします。

それでは、議案について御説明申し上げます。

5ページの補正予算につきましては、のちほど財政部長から説明いたします。

6ページをご覧ください。

議案4の「苫小牧市部設置条例の一部改正について」は、各部の事務分掌の適正化等を行うことにより、新たな行政課題に対応できる効率的で効果的な行政組織とするため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は、令和8年4月1日でございます。

7ページをご覧ください。

議案5の「苫小牧市職員等の旅費支給条例の全部改正について」は、国家公

務員等の旅費に関する法律の改正に鑑み、旅費の種目、支給要件等を改めるため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は、令和８年４月１日でございます。

８ページをご覧ください。

議案６の「苫小牧市税条例の一部改正について」は、国民健康保険税の課税限度額を引き上げるため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は、令和８年４月１日でございます。

９ページをご覧ください。

議案７の「苫小牧市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について」は、乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準を定めるため、本条例を制定するものであり、施行日（しこうび）は公布の日でございます。

１０ページをご覧ください。

議案８の「苫小牧市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び苫小牧市保育所条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法の改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営の基準及び保育料に関する事項を定めるため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和８年４月１日でございます。

１１ページをご覧ください。

議案９の「苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の一部改正について」は、リサイクルプラザについて、その設置目的を変更し、新たに環境学習交流施設として設置するため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和８年１０月１日でございます。

１２ページをご覧ください。

議案１０の「苫小牧市テクノセンター条例の一部改正について」は、機器の更新に伴い、使用料及び手数料の額を改定するため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和８年１月１日でございます。

１３ページをご覧ください。

議案１１の「苫小牧市森林火入れに関する条例の一部改正について」は、火入れの際の遵守事項に、林野火災に関する注意報が発表された場合の対応を

追加する等のため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和 8 年 1 月 1 日でございます。

14 ページをご覧ください。

議案 12 の「苫小牧市スポーツセンター条例の一部改正について」は、苫小牧市ときわスケートセンターを廃止するため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和 8 年 4 月 1 日でございます。

15 ページをご覧ください。

議案 13 の「苫小牧市建築基準法施行条例の一部改正について」は、建築基準法施行令の改正に伴い、条例で引用している同令の条項に移動があったため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は公布の日でございます。

16 ページをご覧ください。

議案 14 の「苫小牧市水道事業給水条例の一部改正について」は、災害その他非常の場合において、他の水道事業者等が給水装置工事を行うことができるようにするため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は公布の日でございます。

17 ページをご覧ください。

議案 15 の「苫小牧市火災予防条例の一部改正について」は、林野火災注意報の発表及び林野火災警報が発令された際の対応について定めるため、関係規定を整備するものであり、施行日（しこうび）は令和 8 年 1 月 1 日でございます。

18 ページをご覧ください。

議案 16 の「財産の譲渡について」は、市の財産を譲渡することについて、議会の議決を求めるものでございます。譲渡する財産は、苫小牧市植苗・美沢地区地域情報通信基盤整備設備一式で、譲渡の方法は、無償譲渡、譲渡の相手方は、NTT 東日本株式会社でございます。

19 ページをご覧ください。

議案 17 の「土地の譲渡について」は、市有地を譲渡することについて、議会の議決を求めるものでございます。譲渡する土地につきましては、苫小牧市ウトナイ南 1 丁目 907 番 1 及び 907 番 6 の宅地で、面積は 46,476.96 平方メ

ートルでございます。

譲渡の方法は売払い、譲渡予定価格は 7 億 2,711 万 6,000 円であり、譲渡の相手方は、大東開発株式会社でございます。

20 ページをご覧ください。

議案 18 から議案 22 の「指定管理者の指定について」は、本市の公の施設を管理する指定管理者の指定をするため、議会の議決を求めるものでございます。指定をする施設は、豊川コミュニティセンター 外 10 施設でございます。

次に、諮問について御説明申し上げます。

21 ページをご覧ください。

諮問 1 の「人権擁護委員候補者の推薦について」は、人権擁護委員の 岡部 敦子（オカベ アツコ） 委員が、令和 7 年 6 月 30 日をもって退任となったこと、高橋 裕美（タカハシ ヒロミ） 委員、大村 千佳（オオムラ チカ） 委員、西尾 一夫（ニシオ カズオ） 委員が、令和 8 年 3 月 31 日をもって任期満了となるため、その後任者を推薦するものでございます。

最後に 22 ページをご覧ください。

未定案件を記載しております。

議案(1)の「令和 7 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 6 回）について」は、苫小牧市民文化ホール整備運営事業につきまして施設引渡しの 2 営業日前である令和 7 年 11 月 27 日に民間資金の借入金利が確定することから、この金利確定に伴う補正予算等について、追加での議案提案を予定しております。

議案(2)の「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、人事院勧告を受けた国家公務員の給与改定に準じて改定を行うもので、法令の公布が現時点でなされていないことから、未定案件とするものでございます。

議案(3)の「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について」は、市長、副市長、教育長及び常勤監査委員の給料額を改定するもので、議案(2)の改正の動向を見極めるため、未定案件とするものでございます。

以上で、簡単ではございますが、私からの説明を終わらせていただきます。

【財政部長】

令和7年度第16回市議会定例会補正予算（案）概要をお願いします。

資料の2ページから5ページに総括表を記載しておりますが、今回の補正は、一般会計、介護保険事業会計、公設地方卸市場事業会計の3会計でございます。

一般会計の補正額は、2ページの歳入、3ページの歳出、ともに、7,379万4千円の増額補正でございます。

次に、特別会計の補正額は、4ページの歳入、5ページの歳出、ともに、1,352万3千円の増額補正で、一般会計と合わせた補正の総額は、8,731万7千円でございます。

内容につきまして、一般会計から説明させていただきます。

なお、指定寄附金の基金への積立て等につきましては、説明を省略させていただきます。

6ページをお願いいたします。

第2款『総務費』、

2番「スポーツ施設整備費」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、TOMASEIフットボールフィールドの芝刈機を更新するものでございます。

3番「防災備蓄品整備事業費」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、災害時に避難所等で使用する備蓄品を整備するものでございます。

4番「カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波災害対応事業費」は、指定寄附金を活用し、避難所開設時に使用した備蓄品を補充するものでございます。

7ページ

第4款『環境衛生費』、

9番「霊園改修等事業費」は、高丘第二霊園の電気設備改修工事を行うものでございます。

8ページ

第5款『労働費』、

10番「緊急雇用対策事業費」は、道路清掃や雪氷除去などの雇用対策事業を実施するものでございます。

第 8 款『土木費』、

12 番「除却事業費」は、弥生町市営住宅の用途廃止に向け、1 階店舗部分を取得するものでございます。

第 12 款『諸支出金』、

13 番「介護保険事業会計繰出金」は、成年後見人制度利用支援事業費の増に伴う繰出金でございます。

14 番「財政調整基金積立金」は、広告料収入を事業費へ充当したことによる減額でございます。

10 ページ

「債務負担行為」の追加でございますが、

『各施設指定管理費』は、コミュニティセンター外 3 件について令和 8 年度からの指定管理費を追加するものでございます。

一般会計は以上でございますが、資料の 13 ページ以降に、事業の概要等を掲載しておりますので、ご参照願います。

11 ページ

介護保険事業特別会計

第 2 款『保険給付費』、

1 番「居宅介護サービス給付費」は、基金繰入による財源更正、

第 3 款『地域支援事業費』、

2 番「成年後見制度利用支援事業費」は、単価及び申請件数の増に伴う扶助費の増でございます。

12 ページ

公設地方卸市場事業会計

「債務負担行為」でございますが、

水産物部及び青果部の令和 8 年度からの指定管理費を設定するものでございます。

資料の 17 ページに、内訳を掲載しておりますので、ご参照願います。

以上、簡単ではございますが、補正予算の説明を終わらせていただきます。

【市長】

次に、案件2「P R I D E 指標 2025（プライド指標ニー・ゼロ・ニー・ゴー）の認定について」でございます。

本市は、企業・団体における性的マイノリティに関する取組の評価指標であるP R I D E 指標 2025（プライド指標ニー・ゼロ・ニー・ゴー）におきまして、令和7年11月14日に、実施主体である一般社団法人w o r k w i t h P r i d e（ワーク・ウィズ・プライド）から、最高評価であるゴールド及びレインボーに認定されました。

去年は北海道の自治体で初めて認定されており、2年連続の認定となります。

誰もが性別を超えて自分らしく生き生きと暮らすことができる、男女平等参画社会の実現を目指す取組の一環として、性的マイノリティの方にとりましても働きやすい職場づくりに取り組んできたことが評価されたものと考えております。

詳細につきましては、担当部長から説明いたします。

【総合政策部長】

P R I D E 指標は、2016年から始まっております。

資料のとおり、「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度・プログラム」「社会貢献・渉外活動」の5つの指標の達成状況により評価され、認定はブロンズ、シルバー、ゴールドの3種類となっております。

この度のゴールド認定は340団体となり、自治体では本市を含む2つの自治体が認定されております。

本市といたしましては、各階層の職員に対する研修や、性的マイノリティを理解し支援するアライの取組、性別不合の治療などに使える休暇制度の整備、男女共用更衣室・トイレの設置などの取組が高く評価され、ゴールド認定に至ったものと考えております。

また、単独の取組でできる範囲を超えて、他のプレーヤーと力を合わせながら性的マイノリティの人々が自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に、中長期的にコミットメントする企業・団体を後押しするための評価指標である

レインボーにも認定されております。

この度のレインボー認定は 38 団体となり、自治体では唯一の認定となりました。

さっぽろレインボープライド実行委員会との連携や、若年層向け L G B T 出前講座など、外部の様々なプレーヤーとの連携した取組が評価されたものと考えております。

私からは以上となります。

【市長】

なお、この度の P R I D E 指標 2025 におきましては、市内企業から 1 社 株式会社 O T i s 様 がゴールド認定を受けております。

市役所内部の職場環境の整備を進める一方で、市内企業に対しましても、情報提供等に取り組んできたところであり、大変うれしく思っております。

今後も、男女平等参画都市を宣言するまちとして、性別にとらわれず、だれもが働きやすい職場環境の実現を目指し、さらに取組を加速させるとともに、地域への波及に努めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

ご質問があれば、お受けいたします。